



# 学校だより 1月

令和5年1月10日

横浜市立芹が谷南小学校

学校Webページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/serigayaminami/>



## 飛躍の年に

校長 大島 恵子

新しい年が始まりました。元日の朝、横浜はよく晴れて穏やかな年の始まりとなりました。今年の干支であるウサギは、足が速く躍動感があるため西洋では豊穡や生命力のシンボルとされているそうです。元気に跳ねるウサギにあやかり、2023年が大きな飛躍の年となるよう職員一同努めて参ります。

昨年12月17日に本校では芹南ふれあいDayを行いました。午前中はまちや学校をテーマに学習してきたことをクラスごとに発表しました。ご参観いただいた皆様に見守られ、子どもたちは自分の言葉でのびのびと思いを伝えることができました。午後の創立記念式は密を避けるためZoomを使ったテレビ放送で行いました。各クラスの「芹南大好き」という気持ちが伝わってくるビデオを見合ったり、ご来賓の皆様のお話をいただいたり、子どもたちが中心となって4月から行ってきた芹南50周年を祝う様々な取組をふり返ったりするなどして心温まる式となりました。校歌を歌う場面では各クラスから聞こえてくる元気な歌声を耳にして、みんなの気持ちがつながっていると感じられることに感謝し、新しい歴史を子どもたちと一歩ずつ積み重ねていこうと思いを新たにしました。皆様のお力添えをいただき無事創立記念式を終えたご報告と共に、50周年を記念しPTAより体育館ステージの幕を新しく寄贈していただきましたことをご知らせいたします。また50周年記念事業として航空写真撮影、リーフレット作成、校内装飾等多くの皆様にご協力をいただきましたことに深く感謝いたします。ありがとうございました。

さて少し前の話になりますが、昨年2月北京オリンピックに出場したフィギュアスケートの羽生結弦選手が試合後に記者会見で話していた言葉を聞き、非常に心を揺さぶられたことを覚えています。「明日の自分が今日を見た時に胸を張ってられるように、これからも過ごしたい」この言葉は心に響きました。羽生選手と言えば現在はプロに転向されていますが、皆様もご存知のとおりオリンピックで金メダルを2回も獲得している世界的なトップアスリートです。北京オリンピックではメダルには届かなかったとはいえ、腐ることなく「2連覇した人間として胸を張って後ろ指をさされないように、明日の自分が今日を見た時に胸を張ってられるように、これからも過ごしていきたい」と彼は語りました。羽生選手の真っ直ぐな人柄が伝わる素敵な言葉だと思います。羽生選手にはどうも及びませんが、自分も明日の自分が胸を張ってられるように過ごしたいと思ったものです。この記者会見後、心の隅に羽生選手の言葉を置きながら過ごしてきましたが、年末に一年をふり返り自分の身に置き換えてみるとどうであったか。来年の自分が今年の自分を見て胸を張れるように、この言葉を肝に命じて一年過ごしていきたいと思います。本年もどうぞよろしく願いいたします。